

2018年2月5日

## カラープロダクションプリンター「RICOH Pro C7210S/C7200S」を新発売 ～5色印刷に対応し、リコー独自技術の搭載による自動化・省力化を実現～

株式会社リコー(社長執行役員:山下良則)は、カラープロダクションプリンターの新製品として「RICOH Pro C7210S/C7200S」を2月15日から発売します。

新製品は、2014年12月に発売した「RICOH Pro C7110S/C7110/C7100S」の後継機で、さらなる高生産性と高画質を実現し、基本性能が向上しています。また、前身機でご好評をいただいているスペシャルカートナー(ホワイト、クリア、ネオンイエロー、ネオンピンク)にも引き続き対応し、プロセスカラー(シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック)と組み合わせることで様々な用紙に印刷することで、豊かで鮮やかな表現が可能になります。さらに、リコーの新技术 IQCT\*を搭載することで、従来は高度なスキルを持ったオペレーターが行っていた色味調整(キャリブレーション)や画像位置調整の作業を自動化しました。これにより、印刷オペレーションの省力化と印刷品質の安定化を両立することが可能になります。

プロダクションプリンティング市場のお客様においては、近年ますます競争が激化し高画質や高生産性、幅広い用紙への対応力に加え、新たなビジネスを切り開く付加価値の高い印刷物を生産できる製品へのニーズが高まっております。新製品の導入を促進することで、こうしたニーズの一つひとつにお応えし、お客様のビジネスの拡大に貢献してまいります。

\* Inline Quality Control Technology の略。

製品名	RICOH Pro C7210S	RICOH Pro C7200S
連続プリント速度(A4ヨコ)	95ページ/分	85ページ/分
標準価格(消費税別)	13,900,000円	11,400,000円
発売日	2018年2月15日	
販売台数	500台/年間(国内)	



RICOH Pro C7210S (オプション装着)

株式会社リコー <http://jp.ricoh.com/>

報道関係のお問い合わせ先 広報室 TEL : 050-3814-2806(直通) E-mail : koho@ricoh.co.jp  
 お客様のお問い合わせ先 リコーテクニカルコールセンター TEL : 0120-892-111

## ＜新製品 RICOH Pro C7210S/C7200S の主な特徴＞

### 1. 高い生産能力を発揮し、PODビジネスをサポート

- ・ 連続プリント速度はフルカラー・モノクロともにRICOH Pro C7210Sで95ページ/分、RICOH Pro C7200Sで85ページ/分(いずれもA4ヨコ)の高速を実現。前身機と比較して、それぞれ5ページずつ高速化し、短納期への対応が求められる現場で、さらなる高生産性を発揮します。
- ・ 最大360g/㎡までの厚紙も連続プリント速度を落とすことなく出力することが可能。パッケージ、カードなどの厚紙印刷が多い印刷の現場においても、生産性を維持します。

### 2. プロフェッショナルニーズにお応えする高画質を実現

- ・ 新たにAC現像方式を採用。現像ローラーと感光体の間でトナーを往復させながら現像時のトナー付着量の均一化を実現。より滑らかで高品質な画像を提供します。
- ・ 2,400dpi×4,800dpiの高解像度を実現。前身機の1,200dpi×4,800dpiから解像度が上がり、文字や細線をより鮮明に、画像をよりリアルに再現し、画像品質にこだわるお客様にお応えします。

### 3. 表現力を向上させるスペシャルカラーに対応

- ・ シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックに加え、5色目のトナーとしてスペシャルカラーに対応。ホワイト、クリア、ネオンイエロー、ネオンピンクの4種類を用意しており、鮮やかな表現を可能とします。
- ・ 新たに、ホワイトトナーの先刷りが可能になりました。濃色紙やメタリック調の用紙に1回の通紙で、ホワイトトナーを先刷りし、その上にカラートナーを印刷することで発色を引き立てます。

### 4. スキルレスオペレーションで高精度な品質と安定した生産性を両立

- ・ リコー独自の新技术IQCT\*を搭載。印刷前のキャリブレーションや印刷中の表裏画像位置補正を自動化します。高度なスキルを必要とする調整作業を自動化することで、オペレーターの負荷低減に貢献し、また、スキルの差による品質のばらつきもなくなります。

\* Inline Quality Control Technologyの略。

### 5. 長尺用紙、ノンカーボン紙など多様な用紙に対応

- ・ 長尺用紙の対応力が大幅に向上。前身機では長さ700mmまでだったのに対して、最大1,260mmまで印刷が可能になりました。また、700mmまでの長尺用紙の自動両面印刷にも対応しました。店頭バナーなど、さまざまな商材を制作することができます。
- ・ 新たにノンカーボン紙へ対応することで、小ロットのカラー伝票や帳票制作が可能になります。

### 6. 使いやすさを追求した優れた操作性を実現

- ・ 新たに、Android OSを搭載した17インチの大画面操作部を採用。前身機の10.4インチ画面と比較して視認性と操作性が大幅に向上し、効率的なオペレーションを提供します。
- ・ 使用する用紙の種類や設定を管理する「統合用紙設定システム」が進化。設定画面ではより視覚的な操作が可能になり、また設定できる紙の種類は200件から1,000件に増えました。

※Android は、Google Inc.の商標です。

---

## ｜ リコーグループについて ｜

リコーグループは、オフィス向け画像機器を中心とした製品とサービス・ソリューション、プロダクションプリンティング、産業用製品、デジタルカメラなどを世界約200の国と地域で提供しています(2017年3月期リコーグループ連結売上は2兆288億円)。

創業以来80年以上にわたり、高い技術力、際立った顧客サービスの提供と、持続可能な社会の実現にむけて積極的な取り組みを行っています。

EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES - 人々の“はたらく”をよりスマートに。リコーグループは、さまざまなワークプレイスの変革をテクノロジーとサービスのイノベーションでお客様とともに実現します。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。 <http://jp.ricoh.com/>